

第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

団体名	男ノ子の里 棚田保存会
活動タイトル	市施設の「男ノ子焼の里」を中心とした里山の景観の維持保全のための活動
活動地域	日本 福岡県八女市



2023年5月28日(日)男ノ子不動の滝の清掃後の団欒の様子



体験・田植えの募集のチラシ



2023年6月18日(日)手植えによる体験田植えの様子

【団体概要】

目的：八女市立花町北山にある美しい男ノ子の里の景観を守り、人と自然との望ましい共生関係を構築するために活動する。

活動の経緯：2019年5月から高校の同級生およそ25名で耕作放棄地の棚田を再生し、コメ作りを実施している。棚田の枚数は当初6枚からスタートし、現在は21枚まで増やしている。

【活動の目的・目標】

1. 活動の期待効果
 - 1-1) 米作り・里山の田園風景の持続化と米作り仲間の親睦
 - 1-2) 不動の滝の清掃・整備作業・新たなパワースポットとしてのPR効果
 - 1-3) キウイづくり・里山の田園風景の持続化と、米以外の作物栽培の新たなチャレンジ
 - 1-4) 4月に開催する「男ノ子の里祭り」に向け棚田にレンゲ草の種をまく。里山保全の大切さを学習してもらおう。

【今回の活動で苦労した/工夫したこと】

今年から、一般の人を募集して、「体験田植え、体験稲刈」を実施した。
6月18日に手植えによる田植えを実施して大人と子供を合わせて50人以上が参加した。そして、田植えに参加した人を3ヶ月経った9月24日に手刈りによる稲刈りを体験してもらい、収穫してもらった。子供たちがこうやってお米を収穫するんだという農業体験を学ばせることができた。

【活動の内容・成果】

開催回数：33回

参加人数：延べ、210人

達成率：33/25(予定回数) => 132%

1. 米の収量：1421KG(昨年比+31%)
増えた理由：
 - ①天候に恵まれた。
9月台風なし。
 - ②雑草を例年より細かく除去した。
2. 新しいチャレンジ：
 - 6月に手植えによる「体験・田植え」を行った。(大人30人、子供20人参加、写真参照)
 - 9月に手刈りによる「体験・稲刈り」を行った。(大人20人、子供15人参加)、写真参照)
3. テレビ朝日による、取材とTV放送。
7月15日(土)に放送された。
(写真参照)
YOU TUBEにTV放送がUPされています。
<https://youtu.be/3G1-IGWc2uE>

第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

こちらに、1ページ目の以外の活動写真を添付し、右側に説明をご記入下さい。



体験・田植えに参加したメンバー。
同日にテレビ朝日の人生の楽園の撮影もあって、撮影スタッフと一緒に記念撮影。
2023年6月18日（日）撮影。



実際に放送された「人生の楽園」のワンカット。
米作り同級生の笑顔がいい。
里山再生を同級生の団体が、ボランティアで実施しているところをコンセプトにした番組を作っていた。



そして、9月には手刈りによる体験稲刈りを企画・実施した。
参加費をいただいた家族には、刈り取った米を20KG渡した。
農家ではない一般の人には、未体験の経験ができたと喜んでいただいた。
2023年7月15日（土）放映。



9月24日に、手狩りによる「体験・稲刈り」を実施した。